

経営プロジェクトとしての IFRS

IFRS (International Financial Reporting Standards) は世界 110 カ国以上で採用されており、日本においても、2010 年 3 月期から一定の要件を満たす上場企業の連結財務諸表について任意に適用できるようになりました。また、国際会計基準審議会 (IASB=International Accounting Standards Board) と各国基準設定主体との協調関係の新しいスキームもスタートし、IFRS 財団のアジア・オセアニア・オフィスも東京に設置されました。IFRS の導入による影響は、決算作成における会計基準の変更だけでなく、財務数値や財務報告プロセスはもちろん、内部統制、情報システム、税務、財務など広範に及びます。

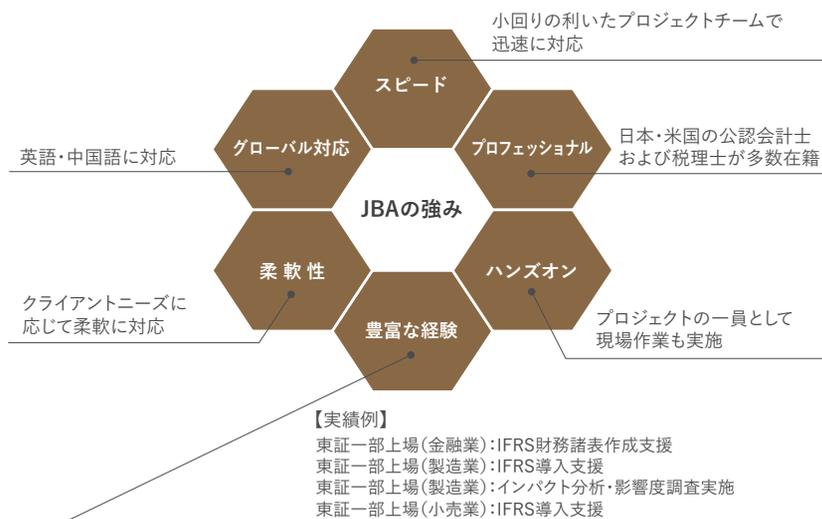
JBA グループは、高度な専門性を持つ会計プロフェッショナルとして企業と緊密なコミュニケーションをとりながら、企業の立場に立った IFRS 導入プロジェクトの支援を行います。

事業展開上のメリット	経営管理上のメリット
企業評価の迅速化、グループの意思決定の迅速化およびグローバルな資本市場からの資金調達など、グローバル展開に有利	グループ経営の強化として、統一的方向性を可視化
ステークホルダー (投資家等) からの要望への早期対応	経理業務の効率化や関連施策 (決算早期化) の促進策として有効
グローバルでの連結リスクマネジメントの強化	経理人材のスキル向上

● JBA グループの強み

Our Strength

JBA グループでは日米の公認会計士を中心とするプロフェッショナルなコンサルタントがクライアント企業と共にハンズオンでスピーディにサービスを提供します。



■ 監査法人出身者だからできる会計監査人 (監査法人) との効果的な調整

プロジェクトの成功には会計監査人とのコミュニケーションが重要です。JBA グループは監査の実務経験が豊富な公認会計士が企業と会計監査人との橋渡し役を担うことにより、クライアント企業側に立って柔軟に支援を行います。

■ 高い実務能力の提供

企業内にプロジェクトの遂行に必要な IFRS に関する知識や経験 (スキル) が十分備わっていないことがあります。弊社のスタッフは大手監査法人出身のプロフェッショナルスタッフであり、IFRS 導入に際しては IT スキル (データ集計能力)、コミュニケーション能力、作業スピードなどに長けたスタッフを配置します。

■ 具現化作業と作業効率性へのこだわり

企業内のプロジェクトメンバーが本来の業務との兼任者ばかりでは、プロジェクト作業に従事する時間が確保しにくいことがあります。JBA グループはこのような人員不足や時間不足を補うため、プロジェクトのメンバーとして「現場」で「具現化作業」を実施します。

JBA
SERVICE MENU

IFRS導入支援サービス

IFRS IMPLEMENTATION
SUPPORT SERVICE

IFRS 導入プロジェクトにおける課題

IFRS 導入プロジェクトを成功させるためには、できるだけ早い時期にプロジェクトチームを立ち上げ、明確なプロジェクトプランを立案し、内外の利害関係者との効率的なコミュニケーション、内部の利害関係者へのトレーニング等を実施することが必要です。

プロジェクトを進めていくうえで様々な課題に直面することが予想されますが、JBA グループは高度な専門性を持つ会計プロフェッショナルとして、課題解決のお手伝いをいたします。

● IFRS 導入支援サービスの概要

Outline

■ プロジェクト全体管理

プロジェクトを成功に導くためには、把握した論点に優先順位を付け、経営資源を適切に配分することが不可欠です。JBAグループは導入計画立案からプロジェクトマネジメントまで一貫したサポートをご提供します。

<IFRS導入プロジェクト概要>

フェーズ	タスク	成果物	
理解・人材育成	分析	<ul style="list-style-type: none"> 会計・財務への影響に関するレポート システムへの影響に関するレポート 内部統制への影響に関するレポート ビジネスへの影響に関するレポート IFRS 導入計画書 	
	方針策定	<ul style="list-style-type: none"> 会計方針の決定 ポジションペーパー（会計方針検討書）の作成 ポジションペーパーに基づく経理業務への影響分析 	<ul style="list-style-type: none"> ポジションペーパー（会計方針検討書）
	実行・具現化	<ul style="list-style-type: none"> グループ会計方針マニュアルおよび業務手順マニュアルの作成 レポートリングパッケージの作成 会計方針に応じた管理会計、業務プロセスおよび各種システムの検討 内部統制対応 	<ul style="list-style-type: none"> グループ会計方針マニュアル 業務手順マニュアル レポートリングパッケージ 内部統制関連文書
	財務諸表作成・開示	<ul style="list-style-type: none"> IFRS 期首 B/S 確定 新しい業務プロセス等でのオペレーション 日本基準・IFRS の並行開示 	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善・効率化の継続的提案 ハンズオンでの業務支援 IFRS 財務諸表作成支援・決算支援

■ フェーズ 1：分析

各種論点を分析し、「会計・財務」、「システム・業務」等への影響を調査するフェーズです。会計論点を網羅的に洗い出し、対応の優先順位付け、システム・業務への影響を調査します。また、経営管理上の既存課題対応も併せて検討します。

■ フェーズ 2：方針策定

会計方針及び具体的な会計処理方法を策定するフェーズです。会計監査人との協議を進めるためのポジションペーパー（会計方針検討書）の作成が中心となります。

■ フェーズ 3：実行・具現化

フェーズ2で決定した会計方針に基づき会計処理を具現化するフェーズです。各種マニュアルの整備、レポートリングパッケージ等の作成、IFRS ベースでの決算数値の作り込み、決算体制整備など具体的な現場作業が中心となります。

■ フェーズ 4：財務諸表作成・開示

IFRS 財務報告決算体制の確立のためのフェーズです。フェーズ3の試行期間で把握された改善事項を踏まえ、本番期の IFRS 財務報告書を作成し、IFRS の運用を定着化することが中心となります。

JBA
SERVICE MENU

IFRS導入支援サービス

IFRS IMPLEMENTATION
SUPPORT SERVICE